

あり、「沈鐘」は、世間的苦惱と天國的憧憬との間に起る運命悲劇である。

「機織工」は五幕から成る社會劇である。機織工のストライキを描いたものである。

機織工が日日汚れた空氣と、轟々と鳴る機械の中で、孜々營々として汗水垂らして働いても、得るところは僅に其日／＼のパン代に過ぎないで、到底餘裕ある生活を樂しむことは出来ない。資本家に賃金の値上げを迫つても、貪慾なる資本家は一顧をも與へてくれぬ。其癖資本家はどん／＼と暴利を貪つてゐる。そして横柄なる態度を以て、職工に君臨してゐる。其堂々たる邸宅といひ、其豪華なる生活といひすべて職工の反感を買ふものばかりである。遂に千五六百人の機織工は、ストライキを起して資本家と相對抗することとなつた。資本家の邸宅を襲撃して之を占領して了つた。軍隊の出動となり、職工と軍隊との衝突が起つた。多數の職工が殺された。大詰の場では、隣村の機織工、ヒルゼ老人の家の場であるが、老人の一家は全部ストライキに加つて出勤してゐるが、貧苦にやつれてゐながらも極めて敬神の念の厚い、正直勤勉な老人は、騒動の中を平然と機を織つてゐる。村人共が、一揆に加はれど、次ぎから次へと勧めに来るが、老人は神を信じて亂暴を好まず、

正直にさへ働いてゐれば、必ず神は救つて下さる、神は正義の味方である。ストライキなどは、神の道に外れた所業である。それは必ず神の激怒に觸れ、罪の報を受けるものである。と言つて其の勧誘を斥ける。そして、鎮壓の手段に盡きて、軍隊が盛んに、一揆に向つて發砲する音を耳にしながら、一心に機を織つてゐる。折柄何處からともなく飛び來つた銃丸の爲に、老人はアツと叫んで倒れた。暗示に富んだ社會劇である。

此の劇には性格の發展は見られぬ。併し社會の實狀を如實に寫實したといふ點に於て勝れたものである。ハウプトマンの勞働者に對する同情がかういふ徹底自然主義の描寫となつて表れたのである。初めは、餘りに貧民階級の窮迫した悲慘な生活を有りの儘にステージに上せたが爲に非難を受けたが、さういふ自然主義の描寫が、より多く人生的意義を藏するものである、といふことが了解するに至つて、此の劇の眞價は一層認められるやうになつたが、近來は矢張り明い諧調を持つた、享樂的の感じの濃い劇が一般に人氣に投合してゐるやうである。イブセンやストリンドベルグの劇に見るやうな苦悶の中から生れた暗い色をした重苦しいものは餘り歡迎されぬやうである。一般に悲劇よりも喜劇が人氣を

呼んでゐるやうである。夫れは日日の悪戦苦闘の生活の體驗の上に、尙又苦悶の人生を見せつけられるといふことは、到底耐え難い二重の負荷であるからである。

三 ショーの劇と其思想及び其他の作家

イブセンに依つて劇界の革新が行はれ、所謂近代劇なるものが各國の劇場を風靡するに至るや、英國の劇壇も亦甚だしく其影響を受けた。即今迄上流階級を相手としてゐた劇は、一般の中流社會を背景とした民衆劇となり、アートの爲の藝術は、ライフの爲の藝術となつた。近代劇の作家も多く出たが、内最も傑出してゐるのはショーである。

バーナードショーは一八五六年に愛蘭の首府ダブリンに生れた。格別な學校教育も受けなかつたが、天性の明敏なる頭腦は、彼をして現代歐洲劇壇の第一人者たらしめたのである。彼は社會改造家である。彼の劇は、社會のリコンストラクションを背景に持つた、人生批評、社會批評、文明批評的色彩を濃厚に持つた傾向劇である。彼の無名作家としての雌伏時代は、イブセンと同じ様に相當に長かつた。ウヰリアム・アーチアの手引に依つて初めて新聞に文藝批評を出すに至つたが、夫れ以後漸く彼の才筆が世人の注意を惹くに至

つた。殊にサタデイ・リヴユ誌上に表はれた彼の月月の劇評は、人氣の焦點でもあり、近代劇の振興には大なる貢獻をなしたものであつた。彼の劇は一八九三年頃から漸くフットライトの光を浴びるに至つた。九三年グラインの獨立劇場で上演せられた「貧民長屋」は彼の處女作である。彼は倫敦に於ける社會主義者の團體たるフェービアン、ソサイアティの幹事である。即ソシヤリストである。併し彼の主義は穩健な社會主義であつて、直接行動に依らず、口と文とに依つて漸進的に社會の改造を企圖せんとするものである。彼の思想はイブセンから餘程影響を受けてゐる。彼のイブセン研究は彼がイブセンにいかにか心酔してゐたかといふことを物語つてゐる。單に思想上のみならず、作劇上に於てもイブセンの影響を非常に受けてゐる。彼は自ら社會改造家を標榜して立つた。彼の藝術は人生の爲の藝術であつて、アートの爲のアートではない。彼は劇を自己の主義思想の宣傳のミーンズとして取扱つた。従つて彼の劇は宣傳的臺詞を以て終始してゐる。フィジカルアクションが極めて少なく、メンタルアクションのみで筋が運ばれてゐる。登場人物はすべてシヨ一の影武者で舞臺上で盛んに演説をしたり、皮肉を浴びせかけたり、警句を放つてゐる

のである。皮肉と、警句と、諧謔とで、看衆を惹きつけて行く手際は鮮やかなものである。彼は赤裸々の人生を其の儘ステージに再現してゐる。因襲道德の打破と新道德の提唱が彼の劇の背景となつてゐる。要するに彼は劇を教化の具社會改造の手段に用ゐたのである。彼は自己建設の爲に、自己の眞の要求に生きんが爲には、一切の迷妄を去り、一切の權威偶像、傳説を捨てなければならぬと言つてゐる。彼は彼の何の劇に於ても、英國人の偽善的態度を痛罵してゐる。資本主義を排斥して社會主義を鼓吹してゐる。社會制度の不備から起つた諸種の悲劇的事實を看客の前へ曝け出して、其改善を呼號してゐる。更に「人と超人」に於ては、ニーチエの所謂超人論を振廻はしてゐる。イウゼニツクスに依つて超人の出現を圖り、以て社會の改善を企圖すべきであると言つてゐる。併しさういふ思想が彼の劇の内に、そのアンダカーレントとして流れてゐるとはいへ、彼の劇は決してアイディアリズムの劇ではない。何處迄も人生の眞の姿を赤裸々に寫し出すといふ、ナチュラリズムの上に立脚してゐるのは勿論である。現實の曝露が彼の劇の特色である。彼の劇には、争鬭や死は殆んど見られぬ。ユーモアとウイットとに富んだ會話だけで、筋を運んで行くの

である。さういふ才に至つてはイブセン以上である。概して喜劇的分子が多く含まれてゐる。即喜劇的形式をとつた議論劇である。彼の傑作として擧ぐべきものは、一八九三年の「ウォーレン夫人の職業」一八九四年の「武器と人」一九〇三年の「人と超人」一八九四年の「カンデイダ」一八九五年の「運命の人」一八九八年の「シーザーとクレオパトラ」等である。茲では「ウォーレン夫人の職業」について述べて見ようと思ふ。

「ウォーレン夫人の職業」は一八九三年に書かれた社會劇である。醜業婦の生活を描いたもので、英國では風教に害ありとして、今尙上演を禁止されてゐる。作の主人公ウォーレン夫人は、醜業に依つて澤山の金を蓄積した。娘のヴァイヴイは、ケンブリッジのニューナム女子大學を卒業したが、母の家へは在學中も卒業後も一度も行つたことがない。母のウォーレン夫人は、ベルギーのブラッセルに住んでゐた。ヴァイヴイは父の名も知らぬし、母の職業も知らなかつた。ウォーレン夫人は時々ヴァイヴイに會ひには來たものの、自分や父の素性は決して打明けなかつた。が彼女はふとしたことから母の職業を知るに至つた。

をとして、さういふ賤しい職業に依つて澤山の蓄財をなし、贅澤に生活してゐる母を憎んだ。併しウォーレン夫人には、夫人としての言ひ分があつた。彼女には四人の姉妹があつた。一番上の姉は行衛不明になつてゐた。他の二人の姉妹中、一人は工女として工場に通つてゐる内に、健康を害して早世して了つた。今一人は職工の妻になつたが、生活難の爲に矢張工女となつて働いてゐる。彼女は是等二人の姉妹よりは顔が美しかつたので、あるバーの女給をしてゐた。或時一人の綺羅びやかに着飾つた美人が入つて來た。よく見ると、夫れは行衛不明となつてゐた姉であつた。姉は醜業に依つて澤山の金を蓄めたのであつた。それをきかされた彼女は、遂に身を魔界に投じて了つた。彼女にはさうするより外に道がなかつた。それが彼女の體と力を以てなし得る最上の生活法であると思つた。尤も肉をひさぐといふことは、女として最も卑しむべきことであるかも知れぬ。併し今日の女なる者はすべて男の機嫌をとることに依つて生きて行かうとしてゐるではないか。成るべく金持に氣に入られ、金持の機嫌をとることに依つて、華やかな生活を享樂しようとしてゐるではないか。要するに是等も一種の體のよい賣春婦で、實際の醜業婦なるものと何等實質

に於て異るところはない。況んやさういふ職業以外には、何等の能力も準備も持つてゐない彼女に於ては、夫れは彼女が生きて行く爲に、當然とるべき生活様式である。若しそれに依らなかつたならば、今頃は餓死してゐたかも知れぬ。何等の財産もなく、又何等職業的教育も能力もない彼女にとつては、さうした職業につくことは、已むを得ざる生活の方式であつたのだ。と夫人は思ひもし、且娘のヴァイグイに辯解もしたのであつた。がヴァイグイは其辯解に満足することは出来なかつた。そして母と別れて或會社の事務員となつた。

此劇は醜業婦に對する彼の社會主義的意見を述べたものであつて、醜業婦も亦現代の社會制度の缺陷から生じた産物であつて、貧富の懸隔を益々大にする資本主義制度を打破するに非ずんば、到底根絶することの出来ぬものであると喝破してゐるのである。要するに貧が社會に於けるすべての罪惡の根源であると思做してゐるのである。今日我が國に於ても、醜業婦の問題が一部の識者間に、やかましく論議されてゐるが、それは人權問題として取扱はれてゐる。成程、醜業婦といふやうなものの存在するのは國家の耻辱であり、別

けて女性の人格を無視し、人權を蹂躪するものである。併し之れもシヨアの言つてゐるやうに「貧」の問題から出發してゐる以上、之が解決を先づ第一に圖らなかつたならば、之が根滅を期することは、絶對不可能のことであらうと思はれる。

シヨアに次いで表はれた英國の近代劇の作家は、バーカー、ゴルズワージー、ピネロ等である。

バーカーは劇の傳統を斥け、舞臺上の自然主義を高唱した作家である。彼は劇を以て、人生の現實的表現であるとした。「マドラスハウス」「廢物」等は彼の傑作である。

バーカーより十年後の、一八六七年に生れたジョン・ゴルズワージーは、今日に於てはシヨア以上の人氣を博してゐる現代英國劇壇の第一人者である。イブセン、ハウプトマンなどの影響を受けてゐて、社會問題を取扱つた劇が最も多い。即「争鬪」の如き、「銀の笛」の如き、「長男」の如き、「正義」の如き、すべて階級闘争や勞働争議を扱つたものである。舞臺上の寫實主義をとつたが爲に、取材範圍は極めて廣く、凡ゆる階級の人物が現はれ、凡ゆる階級の生活が描き出されてゐる。ピネロは是等の作家よりは古く文壇に乗り出

した男で、一八五五年の出生である。英國の劇壇では元老株の作家である。彼は主として民衆を相手とした問題劇を書いた。「スウィートラヴエンダ」の如きは非常な大當りをとつた劇で、七百餘日打續けたといふことである。近松の「國姓爺」が十七ヶ月打續けたのよりはまだ長かつたのである。「タンカレ第二夫人」なども好評を博した劇である。舞臺技巧に秀れた才能を持ち、よく看客の欲求に合致するやうに劇を書いたものである。

四 メーターリンクの象徴劇

長い間、不自然な、甘いロマンティズムに捉はれてゐた歐洲の劇壇は、イブセン、ストリンドベルグの出現に依つて、ナテユラリズムに立脚した所謂近代劇なるものに風靡され、自然主義、現實主義の世界と化して了つたが、最近に至つて、更に之に内面的の深みを加へたネオロマンティズム又はシンボリズムの藝術を生むに至つた。此の思潮に棹して劇界に乗り出した最初の作家は、ベルギーの劇詩人、モーリス・メーターリンクである。之は本章の自然主義作家の内へ入るべきものではないが、近代劇運動の變遷を示す便宜上、簡単に附記することにする。

モーリス・メーターリンクは、一八六二年八月二十九日、ベルギーのゲントに生れた。フランスの詩人、ボードレール、ヴェルレーヌ、マラルメ等の象徴詩の影響を受けて、當時ベルギーにあつて象徴派的新文藝の鼓吹に力めた二人の詩人があつた。一人は詩人のヴェルハーレンで、他の一人はメーターリンクである。彼の劇は象徴劇である。近代劇が餘りにリアリステイックであり、社會當面の事象に即し過ぎて、却つて内面的の深みと神秘とを缺き、理智に走り過ぎて靈性の光耀を閑却したところあるに慄らすとなし、シンボリズムに依つて、神秘的想像の世界に行はれる靈魂の動作をステージの上に再現しようとするのである。彼の處女作は、一八八九年に書かれた「マレーヌ姫」である。夫れ以後「モンナヴァンナ」「青い鳥」「タンタジールの死」「群盲」「闖入者」「七人の王女」等の特色ある象徴劇を書いた。

彼はこの現實世界に實在する唯一つのものは、神秘的運命のみであると見てゐる。我々の周圍にあるところのものは、すべてデステイニーの姿を變へたものに過ぎない。我々はこのミステイックな運命の神に操られて動いてゐるのである。それは我々の肉眼には映じ

ないが、我々を支配してゐるところの大きな力である。この運命の力を直感し得る者は、いかなる現世的英雄よりも尙偉大なるものである。と彼は言つてゐる。彼はこの現實世界に見らるる、運命の力の現はれ、即運命の神の悪戯を、象徴的に描いたのである。彼の劇は「静劇」と稱するものである。會話と、簡単な動作と、沈黙との間に浮動する運命の靈的動作を直感させようとするものである。彼の作には死を取扱つたものが多いが、概して神秘的な、幽玄な、非現實的なものが多い。

「ブルーバード」は彼の代表作として、最も多く上演されてゐる、大規模な童話劇である。彼の作劇上の特色が最も多く表はされてゐた、テイビカルなものである。それは貧しい樵夫の子供、チルチルとミチルの兄妹が、クリスマスの前夜に見た夢を描いたものである。即二人の兄妹は、ある魔女から歌を唄ふ草と、青い鳥とを探して來いと命せられ、二人して諸所を探し廻るといふことを仕組んだものである。青い鳥は幸福を象徴したものである。二人はこの青い鳥を尋ねて諸所を遍歴したが、結局自分の手元で夫れを見附けることとなる。二人を始終導いてゐた「光」は知識を象徴するものである。即此の劇は、幸福を求む

るには知識を要し、しかもその幸福は手近にあるといふ事を暗示した童話劇である。サムエル・ジョンソンの書いた「ラセラス」と同じ行き方である。犬とか、猫とか、砂糖とかいふものが、パーソニファイされて出て來、且場面も自然を背景にして餘程神秘的に出來てゐるので、子供の好奇心を惹くには十分である。尤も之れは童話劇とはいふものの、子供を對象として書いたわけでもなく、童話劇の形式をとつた思想劇である。

この童話劇に次いでよく上演されるのは「モナヴァンナ」である。メーターリンクの作の多くは、時代も場所も明示されてゐない超自然的な、ミステイックな、シンボリックなものであるが、「モナヴァンナ」は時代を中世紀にとり、場所をイタリーのピザにとつた、三幕の新史劇である。此劇は、メーターリンクの象徴劇として紹介するには極めて不適當な現實的氣分の多分に含まれた劇ではあるが、ねらひどころに面白い所があるので、簡単に荒筋だけ述べることにする。

ピザの町はフィレンツエ軍の大將プリンチヴァアルレの爲に圍まれて、城の運命は旦夕に迫つた。守將ギドー・コロナは、萬策盡きて和議を申込んだが、敵將は條件の一として、

ギドーの妻をして、裸體にマント一つを纏つたのみで、陣中へよこせと申渡した。ギドーはその無禮を怒つたが、妻は市民の幸福の爲に、敢へて自ら進んで深夜敵の陣中へ行つたのである。ギドーの妻は、敵將プリンチヴァアルレの前に、臆するどころもなく立つた。が意外にも、彼等二人は、幼馴染の友達であつたといふことが分つた。女はプリンチヴァアルレを伴つて城へ歸つた。約束通り城の圍みは解かれた。がギドーは妻の貞操を疑つた。彼の心は暗く沈んで行つた。遂にプリンチヴァアルレを捕へて牢へ投じた。が其鍵は妻の手にあつた。妻は夫の無理解と狭量とに失望した。彼女は、いつの間にか自分の心が、博愛な、高潔なプリンチヴァアルレの方へ吸ひつけられて行くのを見た。

ピザの斜塔を背景とした場所が極めてロマンティックである上に、美しい人妻が裸體をマントで包んだまま、深夜一人敵陣へ乗り込んで行くといふ所に、看客の好奇心を惹く山がある。概して暗鬱な、押へつけられるやうな氣分のするものが多い彼の作の内、是や「ブルーバード」の如きは、例外的に明るい色彩を持つた、美しい劇である。

メーターリンクが劇界に及ぼした影響は、主としてその象徴的な舞臺裝置に於て見られ

る。近代劇作家、及び舞臺裝置家は、彼の象徴的な舞臺美術から非常なヒントを得てゐるのである。ブーダーマンやハウプトマン等の如き、乃至はイブセン等に至るまで、多少なりとも彼の影響を蒙り、彼の舞臺裝置を模倣してゐる跡が見られるのである。特に露西亞の劇界には、彼の影響が最も多く及んでゐるのである。

大正十三年十二月十七日印刷納本
大正十三年十二月十九日發行

歌舞伎と近代劇概論
定價貳圓五拾錢

不許
複製

著者 伊藤 鶴松
發行兼印刷者 株式会社文献書院
代表者 武藤 欽
印刷所 文献書院印刷所

發行所

京都市下長者町油小路西(振替口座大阪六三〇九二)
株式会社文献書院
京都市神田區表神保町三番地

株式會社文獻書院發行

近松戲曲新研究	加藤順三著	四六版二百八十頁 定價二圓 送料十五錢
近松劇物語	加藤順三著	四六版二百頁 定價一圓六十錢 送料十三錢
大西利夫脚本集	文學士 大西利夫著	四六版百九十頁 定價一圓五十錢 送料十三錢
戲曲 苦悶の釋迦	文學士 手島文倉著	四六版三百頁 定價二圓二十錢 送料十七錢
戲曲 嗚呼蓮如	太宰衛門著	四六版二百頁 定價一圓七十錢 送料十五錢

同志社大學講師 壇見清 共譯
同 エツサー夫人

新刊

ラム全 原著譯 セキスピア劇二十篇

四六版四百五十頁
總黑表紙洋裝幀
定價貳圓四拾錢
送料拾九錢

歐米の家庭に於て、この「セキスピア劇物語」と聖書とのない家庭はないとまで言はれてゐる。則ち其のセキスピア劇は、ここに譯者の忠實且つ練達の筆によつて平易な散文に翻譯されました。是れ我國に於ける最初空前の全譯書であります。

内容—暴風雨物語、眞夏の夜の夢、冬物語、から騒ぎ、お氣に召すまゝ、ペロナの二紳士、ベニスの商人、シムベリン、リヤ王、マクベス、終りよきは皆よし、ちや／＼馬馴し、間達の喜劇、以尺報尺、十二夜、アゼンスのタイモン、ロミオとジュリエット、ハムレット、オセロ、ヘリクレス。—以上二十篇

中等學術協會編

三三三
定價 百六
料一圓三十特
六二十
錢錢頁製

明治文學選釋

內容大要

評論文(櫻牛、作太郎、天隨、子規、梁川、祝、逍遙、露伴、蘇峰、知泉、毅、有朋等の作)。
の作)参考趣味(露伴、作太郎、八東、漱石、櫻牛、鐵傷、櫻牛、桂月、藤村、麗水、立藪、二葉亭、露伴等
節等の作)附録(現代文と入試問題、入試問題の出所と傾向、熟語と入試問題、現代文と入
試問題の量、現代作家略傳、答案の例等十章)

中等學校上級生の自修書、參考書、又上級學校入學志望者の準備書として
編纂されしもの。詳註及び通釋を加へ、尙附録として既出試験問題等を指
摘す敢て諸君の机邊に勧む。

東京市下長者 株式會社 發行所
大阪 振替口座 番二九〇三六

528

142

終